

平成29年度 第7回教育研究評議会議事要録

日 時 平成29年11月14日(火) 10:00～11:35
場 所 事務局第1会議室
出席者 三村学長, 尾崎理事, 袖山理事, 影山理事, 佐川人文社会科学部長, 折山理学部長, 馬場工学部長, 久留主農学部長, 木村全学教育機構長, 松坂評議員, 高橋評議員, 田中評議員, 蓮井評議員, 荒川評議員, 小野寺評議員, 田内評議員, 吉田評議員, 増澤評議員, 伊藤評議員, 中石評議員, 後藤評議員

議 題

審議事項

- 1 教育研究助成会費の変更について
- 2 茨城大学創立70周年記念事業(案)について
- 3 教員の休職について
- 4 その他

報告事項

- 1 教員の人事について
- 2 第13回茨城学生国際会議の開催について
- 3 平成30年度入学試験等について
- 4 平成30年度推薦入試及び社会人入試・AO入試の志願状況について
- 5 高大接続シンポジウムの開催について
- 6 志願者増に向けた取り組みについて
- 7 大学ポータル(国際発信版)について
- 8 平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について
- 9 平成29年度科研費監査結果について
- 10 TOEIC一斉テスト実施経費の徴収金額等について
- 11 その他
 - ・茨城大学将来戦略タスクフォースの設置について
 - ・平成29年度学長学術表彰受賞記念講演会について
 - ・茨城大学学生地域活動発表会2017について
 - ・茨城大学農学部研究室訪問交流会について

議 事 概 要

I 審議事項

- 1 教育研究助成会費の変更について
学長から, 審議願いたい旨の提案があり, 袖山理事から資料1に基づき説明があり, 審議の結果, 提案のとおり了承された。

【主な意見】

- サークル棟の設備について, サークルに所属していない学生も気軽に使用できるような仕組みを検討願いたい。
- 学生の課外活動・生活環境等整備一覧について, 緊急性や優先度等を全学で共有し議論したうえで, 整備の考え方に基づく整備計画を作成するべきである。
- 学部学生と社会人学生の性質が違うので, 助成会会員の定義について整理

しておく必要がある。

- 今後は助成会費を計画的に管理し、各キャンパスの学生の生活環境の改善に取り組むための財源の一つとしたい。

2 茨城大学創立70周年記念事業(案)について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、米倉副学長及び総務課長から資料2に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

【主な意見】

- 早い段階で記念事業の企画内容を検討し、本学の70周年事業として適切な案を持つことと、卒業生への広報が非常に重要である。

3 教員の休職について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、馬場工学部長から資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

4 その他

なし

II 報告事項

1 教員の人事について

学長から、資料4に基づき報告があった。

2 第13回茨城学生国際会議の開催について

学務部長から、資料5に基づき報告があった。

3 平成30年度入学試験等について

泉岡副学長から、資料6に基づき報告があった。

4 平成30年度推薦入試及び社会人入試・AO入試の志願状況について

泉岡副学長から、資料7に基づき報告があった。

5 高大接続シンポジウムの開催について

泉岡副学長から、資料8に基づき報告があった。

6 志願者増に向けた取り組みについて

泉岡副学長から、資料9に基づき報告があった。

7 大学ポートレート（国際発信版）について

大学戦略・IR室副室長から、資料10に基づき報告があった。

8 平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について

大学戦略・IR室副室長から、資料11に基づき報告があった。

9 平成29年度科研費監査結果について

監査室長から、資料12に基づき報告があった。

10 TOEIC一斉テスト実施経費の徴収金額等について

学務課長から、資料13に基づき報告があった。

1.1 その他

- ・茨城大学将来戦略タスクフォースの設置について、大学戦略・IR室副室長から報告があった。
- ・平成29年度学長学術表彰受賞記念講演会について、尾崎理事から報告があった。
- ・茨城大学学生地域活動発表会2017について、影山理事から報告があった。
- ・茨城大学農学部研究室訪問交流会について、影山理事から報告があった。
- ・学生系の事務一元化に係る業務について、佐川人文社会科学部長から要望があった。
- ・工学部の2学科に対するJABEE審査について、馬場工学部長から報告があった。
- ・水戸地区防災防火訓練の実施について、袖山理事から依頼があった。

III 監事からの意見

- ・70周年記念事業について、茨城大学ビジョンは記念関連事業というよりも、大学の責任においてきちんと策定するべきではないか。また、これまでの大学改革の到達点を踏まえて今後のビジョンを内外にアピールすることが、より効果的であると考えます。
- ・70周年記念事業のビジョン策定について、将来戦略タスクフォースが設置され今後のビジョンに基づく戦略が検討されていく中で、これらがどのように関わっていくのかが不透明である。大学全体のビジョンであれば責任のある所で策定するべきである。また、施設整備のための教育研究助成会費の引き上げや70周年記念事業での基金募集が審議されたが、示された資料にはいろいろな要望が出ており、その中の何をどの資金で整備するのかの全体像を示すことにより、寄附者の納得を得ることが重要である。

IV その他

次回 教育研究評議会開催

12月14日（木） 14時00分から